

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4062	(H.24)No.	4062
-----------	------	-----------	------

事務事業名		現年補助災害復旧事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先	
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681	
新・継	事業期間	根拠法令等		
継続	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	561501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	災害復旧費	現年補助災害復旧事業
項	土木施設災害復旧費	(小事業名)
目	土木施設災害復旧費	現年補助災害復旧事業

3. 事務事業の概要

事業内容	効果(事業目的)
災害発生箇所の復旧を行います。	二次災害の防止、今後の防災に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] ・台風等の災害による復旧作業等 ・測量設計等 10件 ・災害復旧工事 12件(内11件はH24年度へ繰越) [平成24年度への繰越明許費 49,015千円(国庫支出金 24,108千円、地方債19,400千円、一般財源5,507千円)] ・測量設計等 5,000千円 ・災害復旧工事 44,015千円	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画			補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
直接事業費	18,525千円				
財源内訳(千円)					
国庫支出金	7,938				
県支出金					
地方債	10,400				
その他(財産収入)					
一般財源	(0) 187	0	0	0	0
人工数					
職員	0.24人	0.16人			
臨時職員等					
概算人件費	(0千円) 1,752千円	1,168千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 20,277千円	1,168千円	0千円	0千円	0千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	災害復旧工事件数	-	-	-	-	-
	実績		-	-	26	1	-
	目標						
	実績						
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価・各指標等)	→	今後の対応方針
台風等の災害復旧作業(測量・設計)を実施した。		復旧工事(11件)を繰越事業として実施する。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む) 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項